

消 防 年 報

令 和 2 年 版

佐 渡 市 消 防 本 部

(令 和 3 年 発 行)

は し が き

1 この年報は、佐渡市消防本部の消防現勢と、令和2年および令和2年度中の業務実績を収録し、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化に資することを目的として作成しました。

また、管内における災害実態や消防及び救急活動の現状など広く一般に紹介し、消防行政に対する理解と協力をお願いするとともに住民の防火思想の高揚をはかるものであります。

2 この年報は、令和3年4月1日現在の消防現勢と、消防統計を掲載してありますが、統計によっては、暦年（1月から12月）あるいは年度（4月から翌年3月）のものもあります。

また、消防現況の逐年傾向を分かりやすくするため過去にさかのぼり比較表としてあるものもあります。

令和3年7月

佐渡市消防本部

目 次

佐渡市消防の概要

佐渡市の位置及び地勢	1
管内配置図	2
歴代消防長・署長	3
佐渡市消防の沿革	6

1. 総務編

1-1 佐渡市消防本部機構図	12
1-2 佐渡市消防本部事務分掌	13
1-3 消防庁舎の所在地	16
1-4 消防職員階級別配置状況	20
1-5 消防職員階級別年齢状況	20
1-6 消防職員階級別在職年数状況	21
1-7 消防職員の研修・教育等実施状況	21
1-8 消防職員資格免許等一覧表	22
1-9 令和2年度 主要事業	23

1-10	年度別一般会計予算	26
1-11	人口・世帯当たりの歳出額	26
1-12	消防関係表彰状況	27
1-13	消防相互応援協定	28

2. 警防編

2-1	消防通信施設状況	30
2-2	無線電話機設置状況	30
2-3	水利の状況	31
2-4	消防用車両等の配置状況	32
2-5	消防用車両等の状況	33
2-6	特殊機械器具等現有状況	40
2-7	気象状況	
(1)	気温	44
(2)	湿度	44
(3)	雨量	45
(4)	風向・風速	45
(5)	降雪・積雪	46

3. 火災編

3-1	年別・地区別・火災発生概要	47
3-2	火災原因別火災件数	49
3-3	火災発生時刻と覚知方法別火災概要	50
3-4	消防機関の出動状況	51
3-5	過去における主な火災記録	52

4. 救急・救助編

4-1	年別・事故別救急出場状況	54
4-2	医療機関別搬送人員数	54
4-3	月別救急出場件数	55
4-4	曜日別救急出場件数	55
4-5	時間帯別救急出場件数	56
4-6	傷病程度別搬送人員数	56
4-7	年齢別搬送人員数	57
4-8	現場到着所要時間別出場件数	57
4-9	救急隊員の行った応急処置状況	58
4-10	普通救命講習等実施状況	58
4-11	救助活動状況	59

4-12	消防救助技術大会出場状況	60
------	--------------	----

5. 予防・危険物編

5-1	防火対象物数の推移	61
-----	-----------	----

5-2	業態別中高層防火対象物数	62
-----	--------------	----

5-3	管轄署別防火対象物数	63
-----	------------	----

5-4	防火対象物別消防用設備等設置状況	64
-----	------------------	----

5-5	防火管理者を必要とする防火対象物数及び 選任状況（甲種・乙種防火対象物）	65
-----	-----------------------------------------	----

5-6	火災予防条例による届出状況	66
-----	---------------	----

5-7	火災予防査察実施状況	67
-----	------------	----

5-8	防火対象物別消防訓練指導状況	68
-----	----------------	----

5-9	建築確認申請同意事務処理状況	69
-----	----------------	----

5-10	広報活動状況	69
------	--------	----

5-11	危険物施設の設置状況	70
------	------------	----

5-12	危険物施設数の推移	71
------	-----------	----

5-13	危険物製造所等の危険物指定数量倍数	72
------	-------------------	----

5-14	危険物規制事務手数料	73
------	------------	----

5-15	年度別危険物製造所等の申請件数	73
------	-----------------	----

5-16	危険物製造所等の立入検査状況	74
------	----------------	----

6. 消防団編

6-1	佐渡市消防団組織図	75
(1)	中央方面隊組織図	76
(2)	両津方面隊組織図	77
(3)	相川方面隊組織図	78
(4)	南佐渡方面隊組織図	79
6-2	歴代消防団長・副団長(団本部・方面隊長)	80
6-3	消防団員職業別人員数	82
6-4	消防団員勤続年数別人員数	82
6-5	消防団員年齢別人員数	82
6-6	消防団員報酬・費用弁償・機械器具管理委託費	83
6-7	消防団員の消防学校教育受講状況	83
6-8	消防団員の退職状況	84
6-9	消防団員の新任状況	84
6-10	令和元年度消防団主要事業	85

佐渡市消防の概要

佐渡市の位置及び地勢

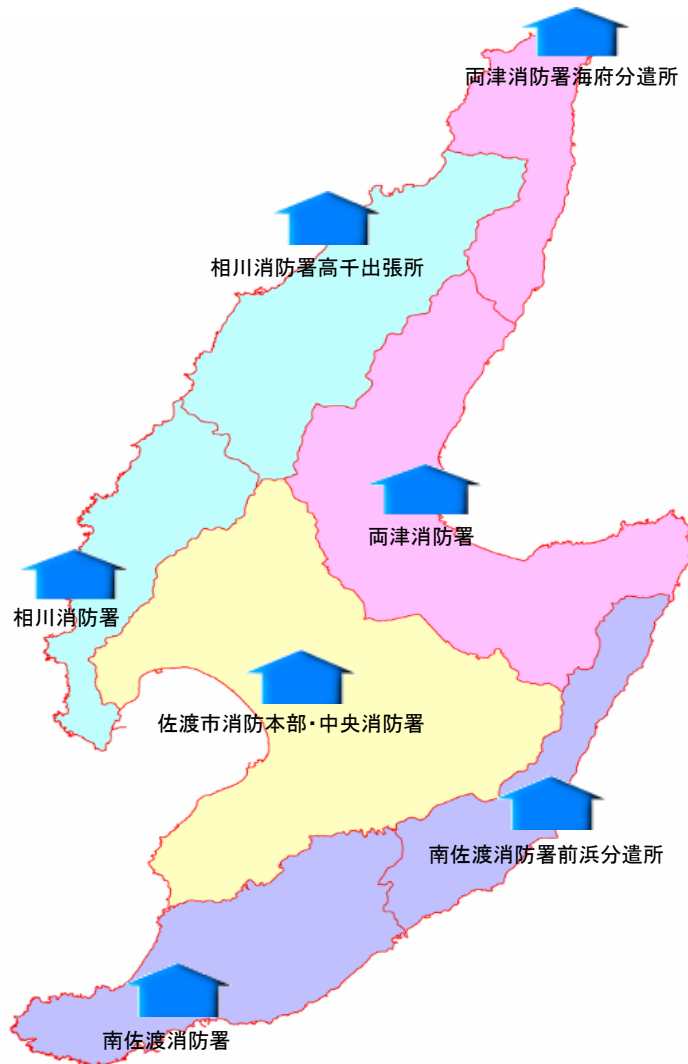
本市は、日本海の中央に位置する佐渡島であり、面積855.68km²、周囲280.9kmに及ぶ海岸線は変化に富み、美しい景観を形成している。島の中央部を国府川が流れ、この流域に開けた穀倉地帯国中平野を挟んで、北に大佐渡山地、南に小佐渡丘陵を擁し、島の大部分が国定公園や県立自然公園に指定され豊かで美しい自然環境に恵まれている。

気候は海洋性で、四季の変化に富み、夏は高温多湿で、冬は日本海を北上する対馬暖流の影響を受け雪も少なく、温暖な特性で気温の年平均値は14℃前後、年間降水量は1,600～1,700mm程度である。

佐渡市の人口は、平成16年3月1日発足時70,015人、令和3年4月1日現在52,467人で少子高齢化・過疎化が進んでいる。

昭和28年の町村合併促進法により、佐渡島は1市7町2村の自治体が組織されていたが、21世紀を迎え地方分権時代が到来の中、平成16年3月1日に1島1市の市町村合併が行われ『佐渡市』が誕生し現在に至っている。

管内配置図



佐渡市消防本部
エンブレム



佐渡市救助隊
エンブレム



佐渡市水難救助隊
エンブレム

歴 代 消 防 長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	加 藤 侑 作	自 平成16年 3月 1日 至 平成18年 3月31日	
二 代	渡 邊 与 四 夫	自 平成18年 4月 1日 至 平成20年 3月31日	
三 代	加 藤 貴 一	自 平成20年 4月 1日 至 平成22年 3月31日	
四 代	金 子 浩 三	自 平成22年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	
五 代	深 野 俊 之	自 平成24年 4月 1日 至 平成27年 3月31日	
六 代	中 川 義 弘	自 平成27年 4月 1日 至 平成30年 3月31日	
七 代	菊 池 慎 也	自 平成30年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日	
八 代	羽 二 生 正 博	自 令和 2年 4月 1日 至	

歴 代 中 央 消 防 署 長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	中 川 茂	自 平成16年 3月 1日 至 平成17年 3月31日	
二 代	加 藤 貴 一	自 平成17年 4月 1日 至 平成20年 3月31日	
三 代	安 達 吉 行	自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日	
四 代	金 子 浩 三	自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日	
五 代	中 川 義 弘	自 平成22年 4月 1日 至 平成27年 3月31日	
六 代	菊 池 慎 也	自 平成27年 4月 1日 至 平成30年 3月31日	
七 代	羽 二 生 正 博	自 平成30年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日	
八 代	岡 田 好 明	自 令和 2年 4月 1日 至	

歴代両津消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	加門俊行	自平成16年3月1日 至平成18年3月31日	
二代	飯田忠一	自平成18年4月1日 至平成21年3月31日	
三代	佐藤恭太郎	自平成21年4月1日 至平成24年3月31日	
四代	野口正明	自平成24年4月1日 至平成30年3月31日	
五代	伊藤浩市	自平成30年4月1日 至令和2年3月31日	
六代	清水勝男	自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	
七代	加賀浩	自令和3年4月1日 至	

歴代相川消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	服部恵男	自平成16年3月1日 至平成18年3月31日	
二代	山本一夫	自平成18年4月1日 至平成22年3月31日	
三代	千崎一徳	自平成22年4月1日 至平成24年3月31日	
四代	菊池均	自平成24年4月1日 至平成28年3月31日	
五代	丸山朝一	自平成28年4月1日 至平成30年3月31日	
六代	矢田美宏	自平成30年4月1日 至令和3年3月31日	
七代	衣笠満喜夫	自令和3年4月1日 至	

歴代南佐渡消防署長

歴代	氏名	在職期間	備考
初代	磯部 敏晴	自 平成16年 3月 1日 至 平成18年 3月31日	
二代	加門 俊行	自 平成18年 4月 1日 至 平成20年 3月31日	
三代	齋藤 昭博	自 平成20年 4月 1日 至 平成21年 3月31日	
四代	高津 十三雄	自 平成21年 4月 1日 至 平成24年 3月31日	
五代	平内 篤	自 平成24年 4月 1日 至 平成27年 3月31日	
六代	高津 十三雄	自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日	
七代	池 克博	自 平成28年 4月 1日 至 平成30年 3月31日	
八代	岡崎 利浩	自 平成30年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日	
九代	増田 和彦	自 令和 2年 4月 1日 至	

佐渡市消防の沿革

- 平成16年
- 3月 佐渡島島内10ヶ市町村合併により、佐渡市消防本部発足 新体制で業務開始
(佐渡消防事務組合消防本部、両津市消防本部、相川町消防本部、南佐渡消防事務組合消防本部が統合し佐渡市消防本部となる)
1本部・4署・2支所・1出張所体制 職員条例定数 204人 実員199人
- | | |
|------------|------------------|
| 消防本部 | 33人 (うち30人中央署兼任) |
| 中央消防署 | 49人 |
| 両津消防署 | 36人 |
| 相川消防署 | 24人 |
| 南佐渡消防署 | 39人 |
| 中央消防署北支所 | 18人 |
| 中央消防署南支所 | 18人 |
| 相川消防署高千出張所 | 12人 |
- 4月 消防職員採用7人 実員204人
- 9月 緊急広報連絡車 中央消防署に配備
- 10月 新潟県中越大震災被災地隊員派遣 (新潟県広域消防相互応援協定)
- | | |
|-------|---------|
| 一次派遣隊 | 救急隊2隊6名 |
| 二次派遣隊 | 救急隊2隊6名 |
| 三次派遣隊 | 救急隊2隊6名 |
- 12月 小型動力ポンプB-3級配備
両津消防団岩首分団第4部、吉井分団第5部、河崎第2分団第3部
小型動力ポンプ軽積載車配備
中央消防団第1分団第5部、第2分団第4部、第4分団第3部
- 平成17年
- 2月 小型動力ポンプ付水槽車(5.0t) 相川消防署に配備
- 4月 消防職員採用1人 実員204人
- 小型動力ポンプB-3級配備
両津消防団加茂第3分団第1部、河崎第1分団第5部、河崎第2分団第3部
- 7月 救助工作車II型 両津消防署に配備
- 8月 消防ポンプ自動車CD-I 配備 中央消防団第1分団第1部、第4分団第1部
- 9月 小型動力ポンプ軽積載車配備 (消防防災用整備事業)
中央消防団第1分団第2部、第2分団第5部、第6分団第5部
消防緊急広報連絡車 中央消防署に配備
- 10月 高規格救急自動車 両津消防署に配備
- 平成18年
- 2月 消防ポンプ付水槽車(5.0t) 中央消防署に配備
- 4月 条例定数改正 200人 消防職員採用7人 実員199人
- 10月 両津消防署 海府分遣所竣工
- 11月 小型動力ポンプ軽積載車 中央消防署、海府分遣所に配備

1 1 月	小型動力ポンプ付積載車配備 中央消防団第4分団第2部、中央消防団第6分団第6部、相川消防団第5分団第2部
1 2 月	南佐渡消防署 前浜分遣所竣工 救急自動車2B型 海府分遣所に配備 小型動力ポンプ付水槽車(2.5t) 海府分遣所、前浜分遣所に配備
平成19年	
4 月	消防職員4人採用 実員198人
7 月	新潟県中越沖地震被災地隊員派遣(新潟県広域消防相互応援協定) 救助隊1隊5名 消火隊1隊5名 救急隊1隊3名 支援隊1隊2名 計15名
1 2 月	高規格救急自動車(緊急消防援助隊設備整備費補助事業) 中央消防署に配備 小型動力ポンプ付軽積載車配備(日本損害保険協会寄贈) 両津消防団河崎第2分団第4部
平成20年	
1 月	消防ポンプ自動車CD-I 配備 南佐渡消防団第1分団第3部 小型動力ポンプ軽積載車配備 両津消防団河崎第1分団第1部、相川消防団第2分団第5部、第4分団第2部
2 月	多機能型消防自動車(財団法人日本消防協会寄贈) 中央消防団本部配備
9 月	救急自動車2B型 前浜分遣所に配備
11 月	両津消防団河崎第1分団河崎・真木分団機械器具置場新築 小型動力ポンプ軽積載車配備 両津消防団河崎第1分団第5部、相川消防団第4分団第3部
1 2 月	相川消防団第4分団石花・後尾分団機械器具置場新築
平成21年	
8 月	中央消防署北支所・南支所閉所 消防本部新庁舎・防災センター竣工
9 月	消防本部新庁舎運用開始 小型動力ポンプ軽積載車 相川消防署に配備
1 0 月	小型動力ポンプ軽積載車配備 相川消防団第4分団第9部
1 1 月	照明車 中央消防署に配備 小型動力ポンプ軽積載車配備 両津消防団加茂第2分団第2部
平成22年	
1 月	災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-I 相川消防署に配備 小型動力ポンプ軽積載車配備 両津消防団加茂第1分団第2部
4 月	消防職員採用2人 実員180人
5 月	小型動力ポンプ軽積載車配備 両津方面隊加茂第3分団第1部
6 月	両津方面隊加茂第3分団第1部機械器具置場新築

10月	両津方面隊吉井分団第3部機械器具置場新築
12月	小型動力ポンプ軽積載車配備 両津方面隊吉井分団第3部、相川方面隊第4分団第9部
平成23年	
1月	消防職員採用1人 実員181人 災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-I 南佐渡消防署に配備
2月	小型動力ポンプ軽積載車配備 相川方面隊第4分団第5部
3月	東日本大震災被災地隊員派遣（緊急消防援助隊） 3/14～4/16 救助隊7隊、救急隊1隊 延べ59名
4月	条例定数改正 185人 消防職員採用1人 実員179人
6月	はしご付消防ポンプ自動車（30m級）オーバーホール
7月	相川方面隊第4分団第3部機械器具置場新築
平成24年	
2月	小型動力ポンプB-3級配備 両津方面隊海府分団第2部、両津方面隊加茂第3分団第2部、相川方面隊第5分団第1部、南佐渡方面隊第4分団第1部
3月	救助工作車II型 中央消防署へ配備 消防緊急広報連絡車 高千出張所に配備 両津方面隊加茂第2分団第3部機械器具置場新築 小型動力ポンプ軽積載車配備 両津方面隊加茂第2分団第3部
4月	消防職員採用3人 実員179人
5月	消防職員採用1人 実員180人 資機材搬送車 中央消防署へ配備
7月	両津方面隊吉井分団第1部機械器具置場新築
平成25年	
1月	小型動力ポンプ軽積載車配備 相川方面隊第4分団第4部、南佐渡方面隊第8分団第1部 小型動力ポンプ付軽積載車配備 相川方面隊第3分団第2部 消防緊急広報連絡車 両津消防署に配備
3月	両津方面隊海府分団第5部機械器具置場新築 相川方面隊第4分団第4部機械器具置場新築
4月	消防職員採用1人 実員180人
5月	消防職員採用1人 実員181人
9月	指揮車 相川消防署へ配備
10月	中央方面隊第6分団第6部機械器具置場新築 消防ポンプ自動車CD-I 配備 相川方面隊第1分団

1 1 月	高規格救急自動車 中央消防署に配備 小型動力ポンプB-3級配備 両津方面隊海府分団第3部、相川方面隊第3分団第4部
1 2 月	小型動力ポンプ付普通積載車配備 南佐渡方面隊第2分団第3部、南佐渡方面隊第9分団第1部 高規格救急自動車（緊急消防援助隊設備整備費補助事業）南佐渡消防署に配備 小型動力ポンプ軽積載車配備 中央方面隊第2分団第7部、中央方面隊第6分団第7部、相川方面隊第5分団第5部 小型動力ポンプ付軽積載車配備 中央方面隊第1分団第4部、中央方面隊第3分団第2部、両津方面隊加茂第1分団第1部
平成26年	
1 月	小型動力ポンプB-3級配備 中央方面隊第1分団第5部、中央方面隊第4分団第4部、両津方面隊水津分団第1部、相川方面隊第5分団第3部、南佐渡方面隊第6分団第3部 両津方面隊加茂第1分団第1部機械器具置場新築 相川方面隊第5分団第5部機械器具置場新築
2 月	小型動力ポンプ付軽積載車並びに消防団拠点資器材セット配備 （総務省消防庁無償貸与事業） 中央方面隊第8分団第2部
4 月	消防職員採用3人 実員183人
9 月	消防緊急広報連絡車 両津消防署に配備 小型動力ポンプB-3級配備 中央方面隊第4分団第1部、中央方面隊第5分団第3部、中央方面隊第6分団第1部、相川方面隊第4分団第4部
1 1 月	高規格救急自動車 中央消防署に配備
1 2 月	相川消防署（市役所相川支所との合同庁舎）新庁舎運用開始 南佐渡方面隊第3分団第2部機械器具置場新築
平成27年	
1 月	小型動力ポンプ付普通積載車配備 南佐渡方面隊第5分団第3部、南佐渡方面隊第6分団第2部、南佐渡方面隊第7分団第3部 小型動力ポンプ付軽積載車配備 中央方面隊第2分団第3部、中央方面隊第3分団第2部、中央方面隊第8分団第3部、南佐渡方面隊第3分団第2部
3 月	小型動力ポンプ付水槽車（2.5t） 中央消防署、高千出張所に配備 消防ポンプ自動車CD-I 配備 両津消防署、南佐渡方面隊6分団第1部
4 月	消防職員採用3人 実員179人
5 月	相川消防署（市役所相川支所と合同庁舎）竣工式
8 月	小型動力ポンプB-3級配備 中央方面隊第7分団第1部、中央方面隊第7分団第2部、中央方面隊第7分団第5部、両津方面隊海府分団第5部、両津方面隊水津分団第3部、相川方面隊第3分団第1部、南佐渡方面隊第9分団第4部

	9月	消防救急デジタル無線システム及び新指令台運用開始
	10月	小型動力ポンプ付普通積載車配備 南佐渡方面隊第7分団第1部
平成28年		
	2月	小型動力ポンプ付水槽車(2.5t) 南佐渡消防署に配備
	3月	指揮車 中央消防署に配備 水槽付消防ポンプ自動車(5.0t) 両津消防署に配備 消防ポンプ自動車CD-I 配備 中央方面隊第8分団第1部 相川方面隊第3分団第1部機械器具置場新設
	4月	消防職員採用6人 実員181人
	11月	高規格救急自動車 両津消防署、高千出張所に配備 小型動力ポンプ付軽積載車配備 南佐渡方面隊第4分団第3部 小型動力ポンプB-3級配備 中央方面隊第3分団第3部、両津方面隊海府分団第6部、両津方面隊河崎分団第5部 小型動力ポンプ軽積載車配備 中央方面隊6分団第2部、両津方面隊海府分団第4部、相川方面隊第3分団第1部、 相川方面隊第3分団第4部
	12月	小型動力ポンプ普通積載車配備 南佐渡方面隊第1分団第4部 小型動力ポンプ付普通積載車配備 南佐渡方面隊第3分団第4部、南佐渡方面隊第8分団第2部
平成29年		
	1月	真更川消防団機械器具置場新設
	3月	消防ポンプ自動車CD-I 中央消防署に配備
	4月	消防職員採用4人 実員180人
	9月	はしご付消防ポンプ自動車(30m級) オーバーホール
平成30年		
	1月	小型動力ポンプ付軽積載車配備 中央方面隊第4分団第2部、相川方面隊第2分団第1部、南佐渡方面隊第3分団第3部、 南佐渡方面隊第4分団第1部、南佐渡方面隊第9分団第3部 小型動力ポンプ軽積載車配備 両津方面隊加茂第3分団第2部、両津方面隊岩首分団第2部、両津方面隊水津分団第1部、 南佐渡方面隊第1分団第1部 小型動力ポンプ普通積載車配備 南佐渡方面隊第4分団第2部、南佐渡方面隊第8分団第1部 両津方面隊岩首分団第3部機械器具置場新設 南佐渡方面隊第3分団第1部機械器具置場新設
	3月	高規格救急自動車 両津消防署に配備
	4月	消防職員採用9人 実員181人
	7月	小型動力ポンプB-3級配備 中央方面隊第1分団第2部、中央方面隊第10分団第1部

1 1 月	災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-I 中央消防署に配備 消防ポンプ自動車CD-I 配備 南佐渡方面隊第7分団第4部 小型動力ポンプB-3級配備 中央方面隊第10分団第4部、両津方面隊加茂第2分団第3部
1 2 月	小型動力ポンプ軽積載車配備 両津方面隊岩首分団第1部、南佐渡方面隊第6分団第4部 小型動力ポンプ付軽積載車配備 両津方面隊河崎分団第3部、南佐渡方面隊第2分団第1部
平成31年 (令和元年)	
3 月	高規格救急自動車 相川消防署に配備
4 月	消防職員採用3人 実員181人
7 月	小型動力ポンプB-3級配備 中央方面隊第8分団第3部、中央方面隊第10分団第2部
9 月	小型動力ポンプB-3級配備 両津方面隊河崎分団第1部、南佐渡方面隊第8分団第1部
1 0 月	令和元年台風19号災害被災地隊員派遣 (緊急消防援助隊) 10/14~10/15 救助隊1隊4名、後方支援隊1隊2名 計6名
1 2 月	小型動力ポンプ軽積載車配備 両津方面隊水津分団第2部、両津方面隊海府分団第5部 小型動力ポンプ付軽積載車配備 両津方面隊河崎分団第2部、南佐渡方面隊第2分団第2部
令和2年	
1 月	久知河内消防団機械器具置場新築
2 月	高規格救急自動車 両津消防署海府分遣所に配備
4 月	消防職員採用4人 実員181人
1 0 月	小型動力ポンプB-3級配備 中央方面隊第4分団第3部、中央方面隊第10分団第3部、相川方面隊第2分団第5部 消防緊急広報連絡車 中央消防署に配備
1 1 月	小型動力ポンプB-3級配備 相川方面隊第4分団第5部、相川方面隊第4分団第6部
令和3年	
1 月	小型動力ポンプ軽積載車配備 中央消防署、南佐渡消防署に配備 小型動力ポンプ付軽積載車配備 両津消防団岩首分団第5部、相川方面隊第2分団第3部、南佐渡方面隊第9分団第1部
2 月	小型動力ポンプ付軽積載車配備 両津消防団岩首分団第4部
3 月	小型動力ポンプ付軽積載車配備 (一般社団法人日本損害保険協会寄贈) 両津消防団水津分団第3部 小型動力ポンプ軽積載車配備 両津消防団海府分団第2部 災害対応特殊救急自動車配備 前浜分遣所に配備
4 月	消防職員採用5人 実員181人

